

垂水処理場汚泥処理施設等運転管理業務

受託者選定基準

神戸市建設局

目 次

1	総則.....	1
2	受託者選定方法.....	1

1 総則

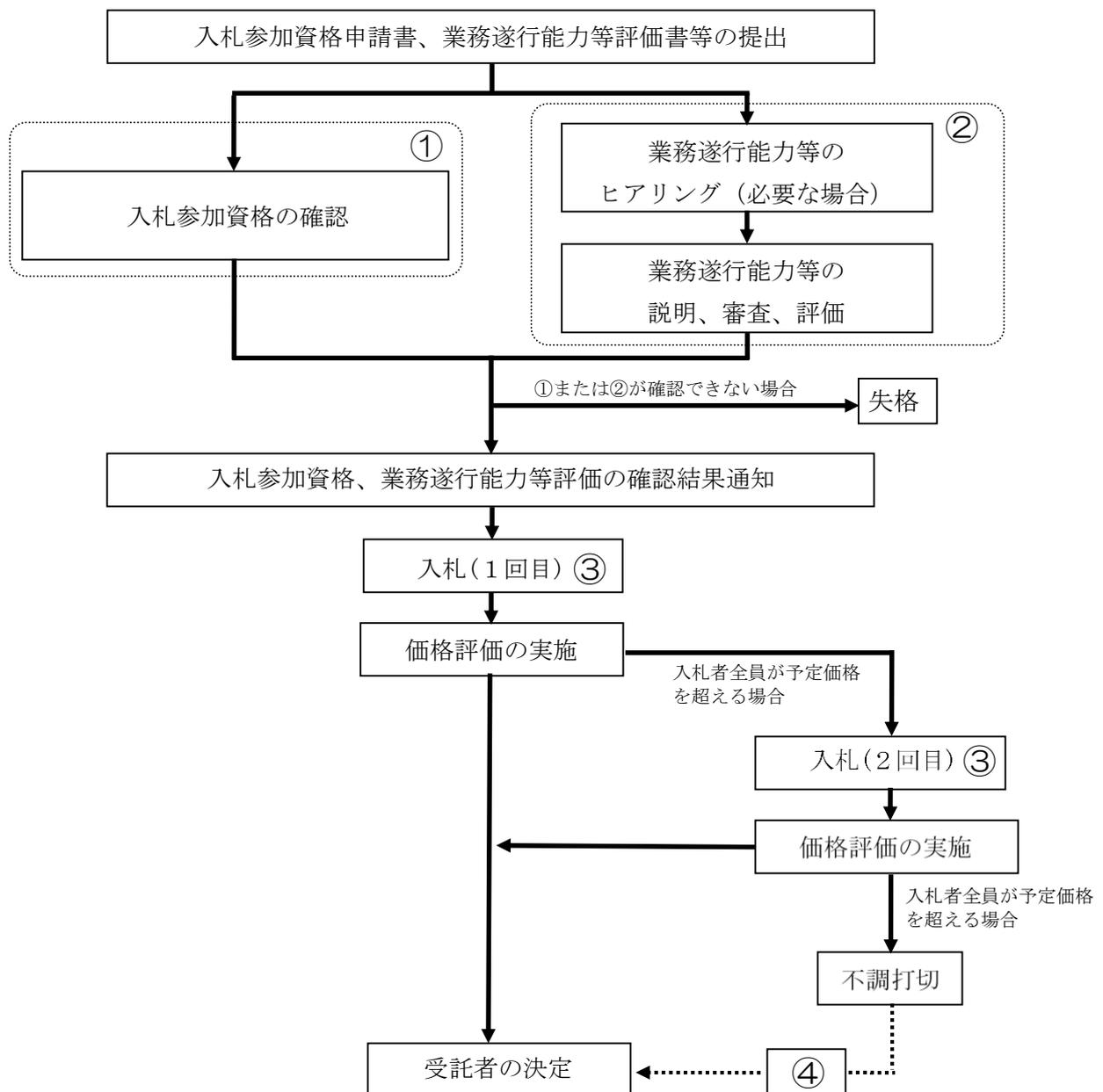
本受託者選定基準は、神戸市(以下「市」という。)が、垂水処理場汚泥処理施設等の運転管理業務(以下「本委託」という。)を実施する民間事業者(以下「受託者」という。)を選定するための基準を示すものである。

本委託を実施する受託者には、下水道施設の運営・維持管理に関する専門的な知識や技術力、経験が求められる。したがって、受託者の選定にあたっては、競争性、公平性、透明性を確保するため一般に公募するとともに、応募者の中から、一定の資格要件、長期間に及ぶ業務遂行能力や技術能力を審査し、入札参加者を絞り込んだうえで入札により価格評価を行う「条件付一般競争入札方式」を採用する。

また、受託者の選定において、入札参加資格及び業務遂行能力等の審査は神戸市建設局にて行い、提出された書類、審査の内容は神戸市情報公開条例に基づく公開を除き非公開とする。

2 受託者選定方法

受託者を選定する手順は、下図に示すとおりである。



①入札参加資格の確認

応募者から提出された「入札参加資格審査申請書」及び「入札参加資格確認資料」により、入札参加資格を確認する。入札説明書等に示す参加資格要件の具備が確認できない場合は失格とする。

②業務遂行能力等の審査、評価

業務遂行能力等については、下水処理の機能・サービスの水準を持続的に確保していくこと(運営コスト低減を含む)を目標とし、業務遂行能力等評価書及びその説明等を踏まえ、要求水準の達成が可能で、長期間に及ぶ業務遂行能力や技術能力を有していると認められるか、などを審査、評価する。

評価の基準については、「表1 評価の基準」によるものとし、評価項目及び評価内容については、「表2 業務遂行能力等の評価項目」に示すとおりである。

「表2 業務遂行能力等の評価項目」のうち1項目でも「不可」の評価がある場合は、長期間に及ぶ業務遂行能力や技術能力を有していると認められず、失格とする。

表1 評価の基準

評価	評価の意味合い
可	当該評価項目を満足している
不可	当該評価項目を満足していると認められない

③入札

ア 応募者の提出する価格

市から入札参加資格、業務遂行能力等の確認の通知を受け取った応募者は、業務価格について入札を行う。

イ 価格の確認、受託者の選定

価格の確認および受託者の選定など入札手続きについては、「入札説明書」による。

④不調打ち切りの場合の随意契約

2回目の入札においても入札者全員が予定価格を超える場合、入札を取止め不調打ち切りとする。その後、2回目の入札価格の低い者から随意契約に関する協議を行う場合がある。

表 2 業務遂行能力等の評価項目

評価項目		評価内容
1. 一般事項	(1)管理運営の基本方針	①本委託の趣旨、委託対象施設の特徴を踏まえ、管理運営の基本方針、本業務への取組み姿勢が示されているか。 ②自社の優位性のアピールがなされ、具体的で有益な提案がされているか。
	(2)会社の財務状況・業務実績	①会社概要(資本金額、財務・経営状況、営業種目、許認可事項、従業員数、有資格者数等)は適切か。 ②類似施設の元請としての受託実績は十分か。
2. 共通事項	(1)業務実施体制	①配置予定の総括責任者、副総括責任者の経歴、資格等により委託仕様書の資格要件を満たしているか。 ②夜間を含む 24 時間通年の業務実施のために必要な人員配置計画(有資格者の配置計画を含む)、組織体制が具体的に提案されているか。 ③業務の一部を再委託する場合の業務範囲、業者選定の考え方について具体的に提案されているか。 ④業務引継ぎについて、体制(人的・技術的バックアップ体制等)やスケジュール、貸与事務所の使用予定等具体的な計画が提案されているか。
	(2)リスク管理	①自然災害時(大雨、地震、津波等)、緊急時(停電、悪質流入水、各種設備の故障等)、感染症発症時(予防対応を含む)等における対応方針、発生時の対策、連絡体制(委託者との連絡を含む)、人員・機材の準備(会社のバックアップを含む)について具体的な提案がされているか。 ②①を想定した訓練等への取り組みについて、その方法や内容及び実施計画などの具体的な提案がされているか。
	(3)安全衛生管理	①業務従事者や外部の入場者に対する安全衛生管理の方針および具体的な方法について提案されているか。
	(4)技術力の維持向上	①運転・保守管理等の教育、研修など業務レベルの維持向上について具体的に提案されているか。 ②会社の人的・技術的バックアップ体制について具体的に提案されているか。 ③配置した人員を業務実施期間中継続して業務に従事させるなど、運転・保守管理の技術力を低下させない提案がされているか。
3. 運転管理	(1)運転管理業務	①対象施設の特徴を理解した上で、施設の運転管理(平常時の運転及び不具合発生時の対応等)方針が具体的に提案されているか。 ②脱水ケーキ量削減に対する具体的な提案がされているか。 ③濃縮、脱水で使用する薬品量削減に対する具体的な提案がされているか。 ④対象施設の管理に関して、周辺環境配慮への留意点を整理し、具体的な対処方法が提案されているか。 ⑤業務遂行にあたって、創意工夫により省エネ・省資源及び②、③以外の運

評価項目		評価内容
		<p>転経費削減への期待ができる取り組みが具体的に提案されているか(その効果が金額にて算出できる場合は、その金額も記入すること)。</p>
4. 保守点検	(1)保守点検計画	<p>①施設・設備の機能維持を実現するための保守点検計画(頻度、内容等)について委託仕様書を満たす提案がされているか。 ②委託者の修繕費の節減につながる有益な方法が提案されているか。 ③ICTを活用した保守点検の効率化や改善が提案されているか。</p>
	(2)修繕業務	<p>①設備台帳等を活用した保全状況の記録、施設機能状態の把握方法について具体的に提案されているか。 ②受託者が対応する故障復旧および修繕について具体的な提案がされているか。</p>
5. 物品調達管理	(1)物品その他の調達・管理	<p>①本業務の実施に必要な物品その他について、調達先選定の考え方、安定調達および品質確保の方策について具体的に提案されているか。 ②消耗品類(委託者支給品を含む)について、適切な在庫の確保を含め、保守点検や故障復旧に配慮した調達方針となっているか。</p>